

本紙の内容について、貴学の本部組織、各学部（学士課程）、各研究科（大学院課程）のご担当の教員と職員それぞれ1名以上にお知らせください。

大学評価・学位授与機構

<別紙>

各大学入学者選抜・国際連携・教務・学生交流担当教職員 殿

「外国での学習履歴等の審査」および「海外で修得した単位の認定」に関する実態調査（依頼）

<オンライン・アンケート調査への協力をお願い>

近年、学生の国際的な流動化が拡大し、外国からの学生を受け入れる大学が多くなってきています。また、わが国の学生が海外で修学する機会も増えてきています。

こうした中、大学では、外国において学習経験を有する学生の受入れや、学生が海外の教育機関で修得した単位の取扱い等に際して、適切な審査と認定を行うことが求められます。ユネスコをはじめ国際的にも、国境を越えた高等教育へのアクセスを容易にするため、大学等におけるこれらの資格審査、認定手続、基準について、透明性、一貫性、信頼性、公平性等を確保することが重要と認識されています。

このような情勢を踏まえ、このたび、大学評価・学位授与機構は、文部科学省と協力して、学生の国際的な移動に伴って必要とされる大学等への今後の支援の在り方を検討するため、全ての大学を対象に、下記のとおり実態調査を行うことにいたしました。

大変ご多用中の時節に恐縮ですが、関係教職員の皆さまのご協力をひとりでも多く賜りたく、下記のURLにアクセスいただき、アンケート調査への回答にご協力方よろしくをお願いいたします。

記

1. アンケート調査内容：

- I 「外国での学習履歴」の審査 - 入学(出願)資格審査 -
- II 「海外で修得した単位」の認定

2. アンケート調査の回答対象者：

- I 大学が実施する入学者選抜試験において、外国での学習履歴を有する出願者の入学(出願)資格審査に携わっている教員と職員
 - II 海外で修得した単位の認定審査に携わっている教員と職員
- ◆ 本調査は、学部（学士課程）と研究科（大学院課程）のそれぞれにおいて、「I 外国での学習履歴の審査 - 入学（出願）資格審査 - 」と「II 海外で修得した単位の認定」に携わっている教員と職員個人の意見をうかがうものです。
 - ◆ 「I」のアンケートについては27つの設問、「II」については、29つの設問があります。
 - ◆ 得られたデータはすべて統計的に処理し、貴大学と回答された方にご迷惑をおかけすることはありません。調査結果は、ご協力いただいた関係者をはじめ、今後、これらの業務に携わる大学の教職員等の皆様の参考となるよう広く公表して、学生の国際的な移動に関して必要な仕組みや支援のあり方について検討してまいります。本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

回答は、平成26年3月28日（金）17時まで下記URLにてご記入ください。

URL：http://www.niad.ac.jp/n_kokusai/

本件問合せ先：

独立行政法人大学評価・学位授与機構

国際課 国際第2係 菅原、諸橋

Tel：042-307-1616

Email: kokusai@niad.ac.jp